

講演テーマ:横浜の女性を演じて

五大路子さんは横浜夢座の座長として、1999年の旗揚げ以来、横浜から世界への演劇発信を目指し活躍されています。

横浜夢座は、横浜で生きた人々が見た夢のかけらを発掘し、舞台に甦らせたいと、数々の作品を創りあげてきました。各作品のなかで五大さんは、ハマっこ女優第一号の紅沢葉子や、フィリピンの戦犯の釈放に尽力した横浜生まれの人気歌手渡辺はま子、横浜本牧に在住していた山本周五郎の妻きん等、多数の横浜ゆかりの女性を演じられてきました。

また、五大さんのライフワークとなっている「横浜ローザ」では、戦争によってその生涯を翻弄された娼婦を、ひとり芝居として18年間にわたり演じてこられ、本年4月にはニューヨークでの公演も予定されています。

本セミナーでは、五大さんが演じてこられた横浜ゆかりの女性たちの生き様を、五大さんご自身の横浜への思いとともにお話いただきます。

五大路子さん 経歴



横浜市港北区出身。神奈川学園を卒業後、桐朋学園で演劇を学び、早稲田小劇場を経て新国劇へ。

NHK 朝のテレビ小説「いちばん星」でテレビの主演デビュー。退団後も多数のテレビや舞台に出演して現在に至る。「横浜夢座」座長としても活躍中。

一人芝居「横浜ローザ」で横浜文化奨励賞受賞。

「失われた時を求めて」で平成11年度日本民間放送連盟の賞を受賞。平成20年 第29回松尾芸能賞優秀賞を受賞